

NAZCA

ナスカ

ACT 7



作 SATOTOMO

NAZCA

ナスカ

ACT 7



作 SATOTOMO



明るくなって
ロックが動き
始めたんだ

あいつらは
朝の時間帯に
エサを求めて
狩をするんだ

撤退する
人の流れに
感づいたか

ロックは
賢い生き物だ

おそらく
黒タンク周辺で
待ち伏せてくる
んじゃないか？

かなりの数が
いるみたい
だけど・・・

黒タンク側の
受入れ体勢は
大丈夫なのよね！

見えたぞ
黒タンク



キム爺さんの
予想した通りだ

タンクの真上に
すごい数だ

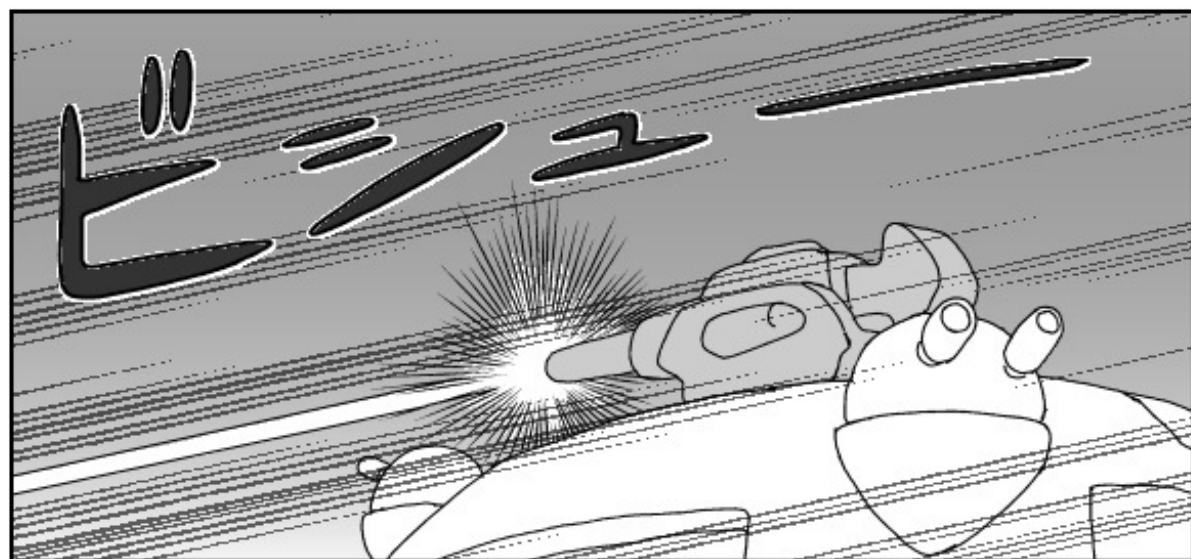
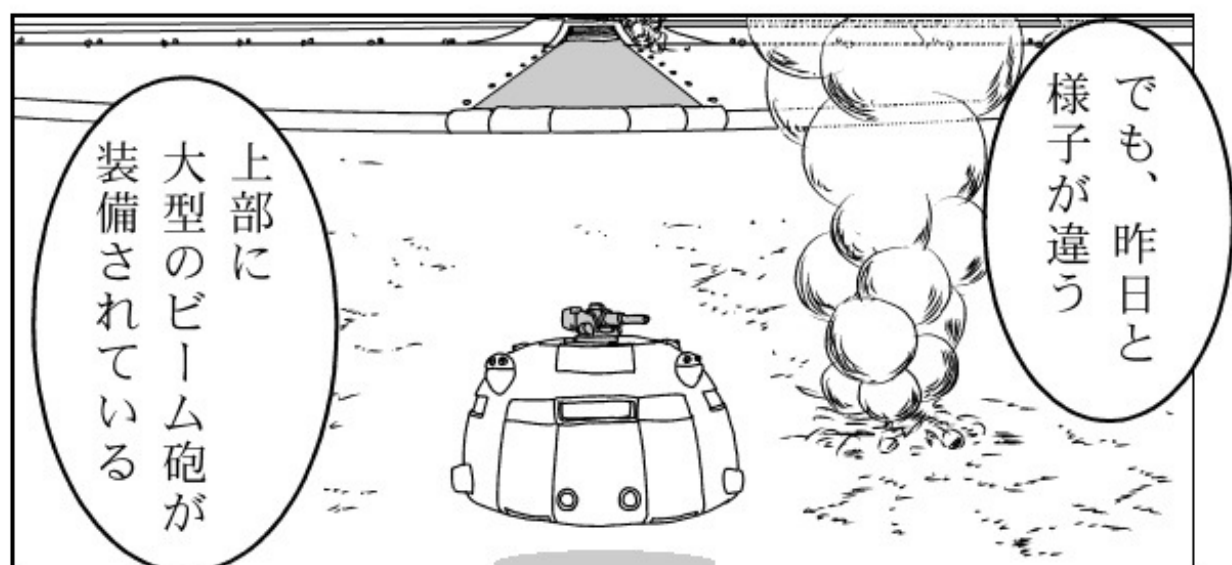
ロックには
砲台の死角が
判っているんだ

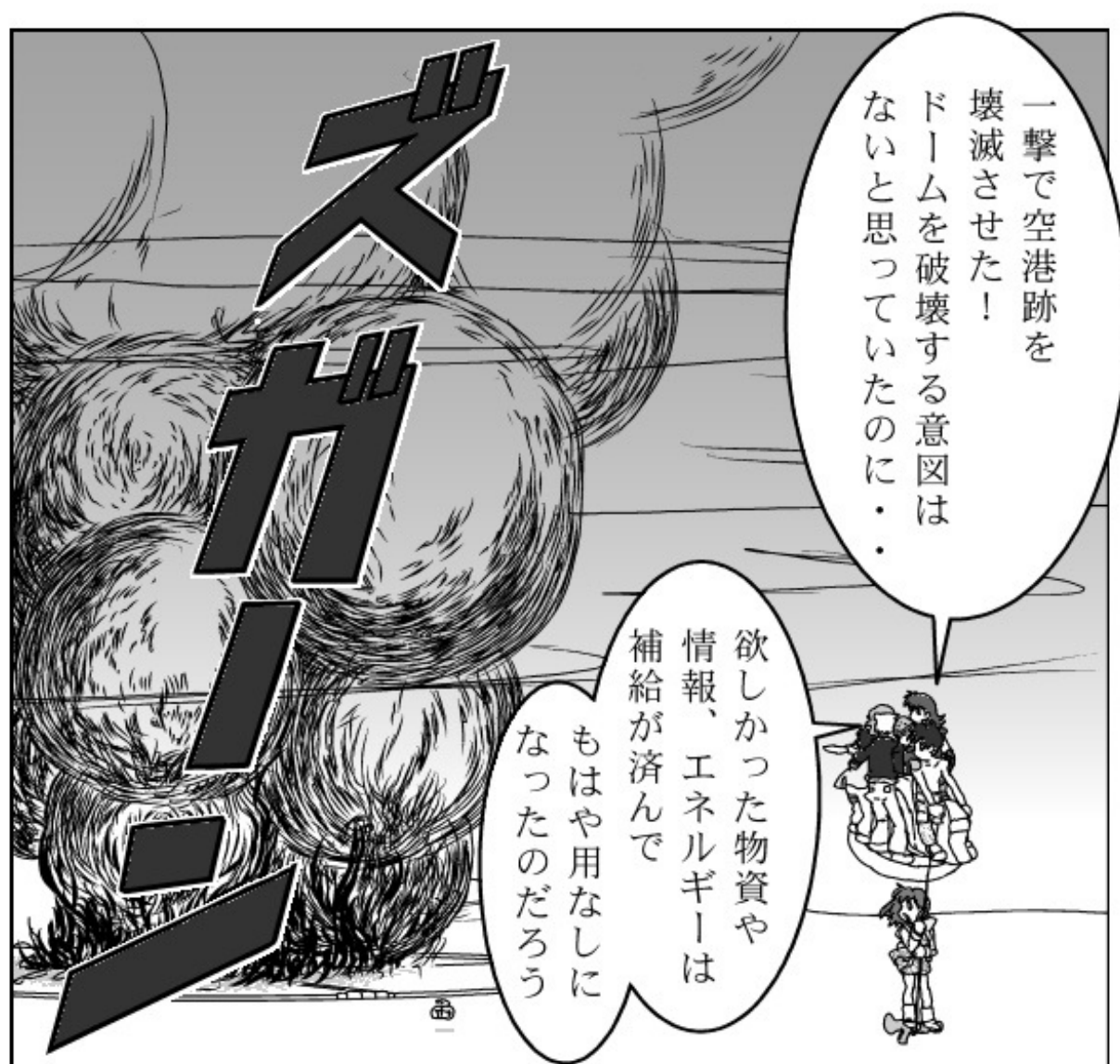
しかしこれでは
黒タンクの居場所が
遠くからでも
丸判りだな

白タンクの方が
物資やエネルギーの
積込みが済めば
反撃に出てくるだろう

格好の餌食に
なってしまう







ドーム破壊完了！
引き続き
黒タンク攻撃準備！

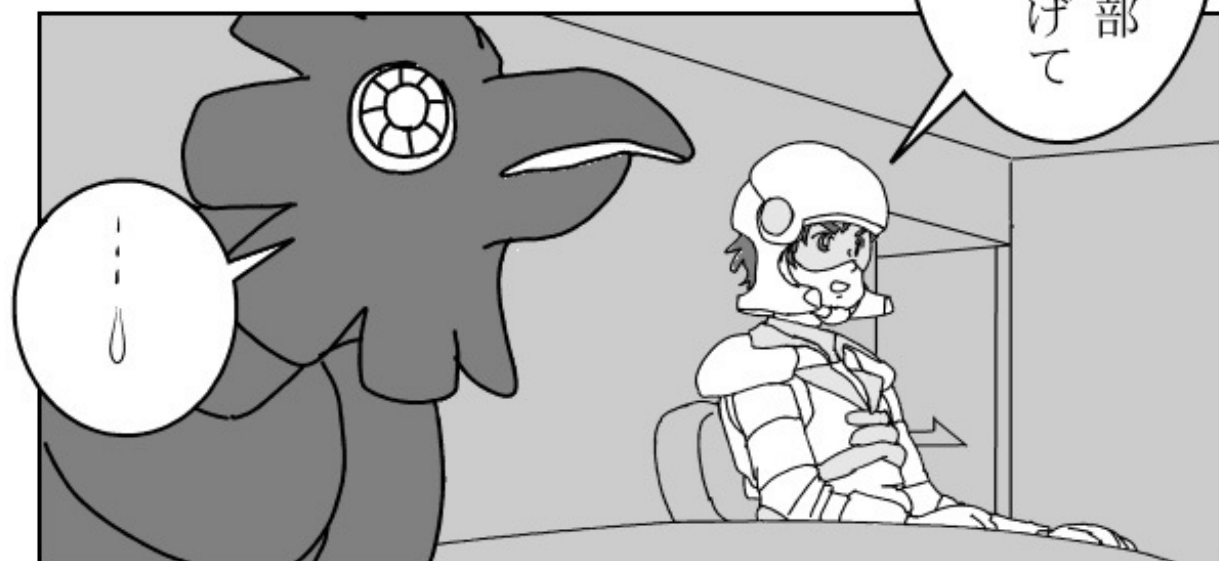
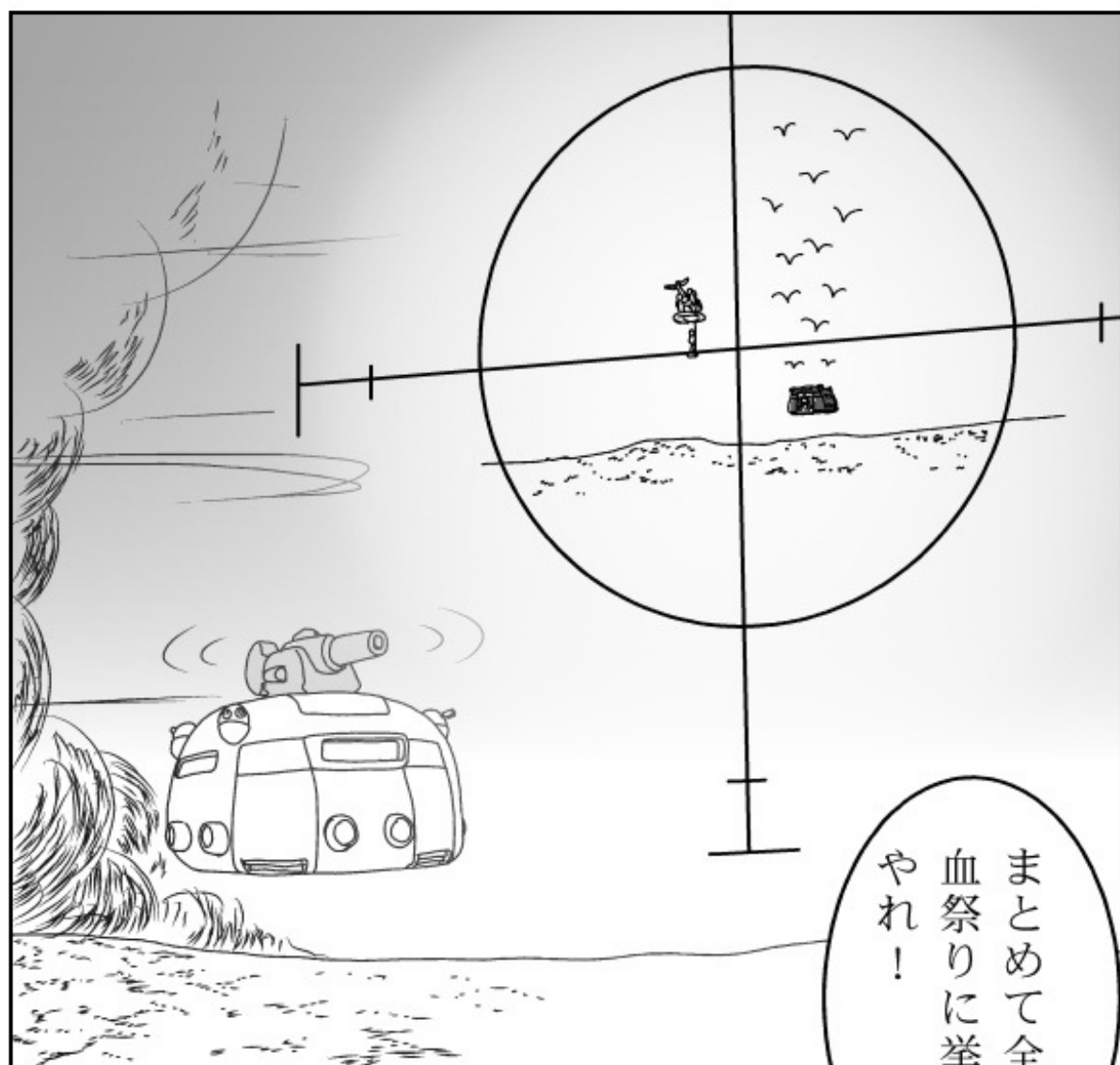
大型砲台に
第2弾、
エネルギー装填

燃料を満タンにできて
久しぶりに大型砲台を
動かしてみたが・・・

兵装の調子は
よさそうだ

黒タンク周辺と
ビーム線上に
ロックの群れや
ホバーがいますが

砲の威力が
標的以外の物に
分散してしまうが



私の声
・
・
・

聞こえて
いますか

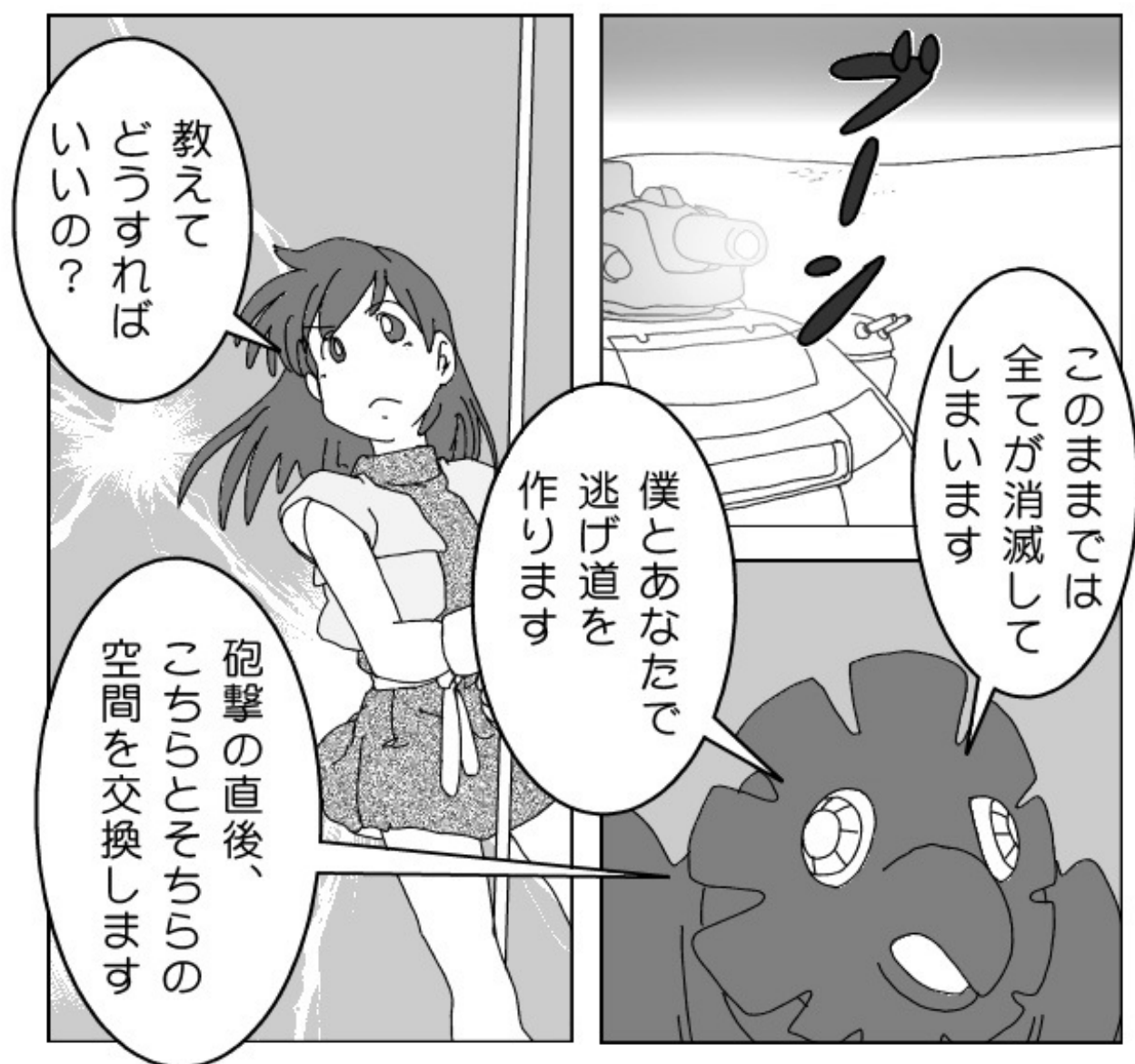
シナプスを
通して・・・

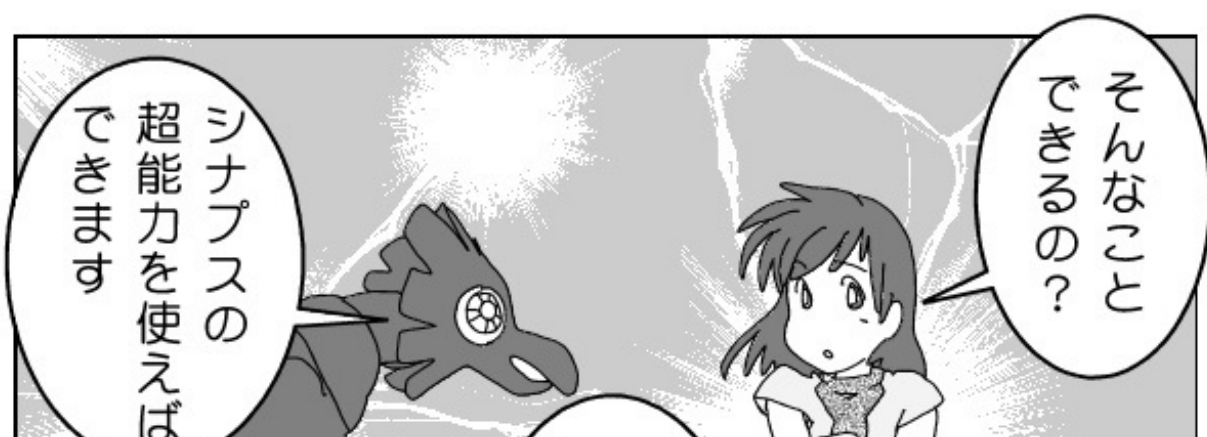
心で
話しかけて
います

今から話すことを
よく聴いてください

ロックの子？

白タンクが
そちらに向けて
また大砲を
撃ちます





これは
種としての
□ツクルフの存続

即ち
我らシナプスの
拠り所を守り
繁栄させていく
ことに繋がります

また、
大量殺戮を為す
人間どもに一矢酬いる
チャンスでも
あります

個としての
私の生き死には
小さなことです

大丈夫、私も
安々と死ぬつもりは
ありませんよ

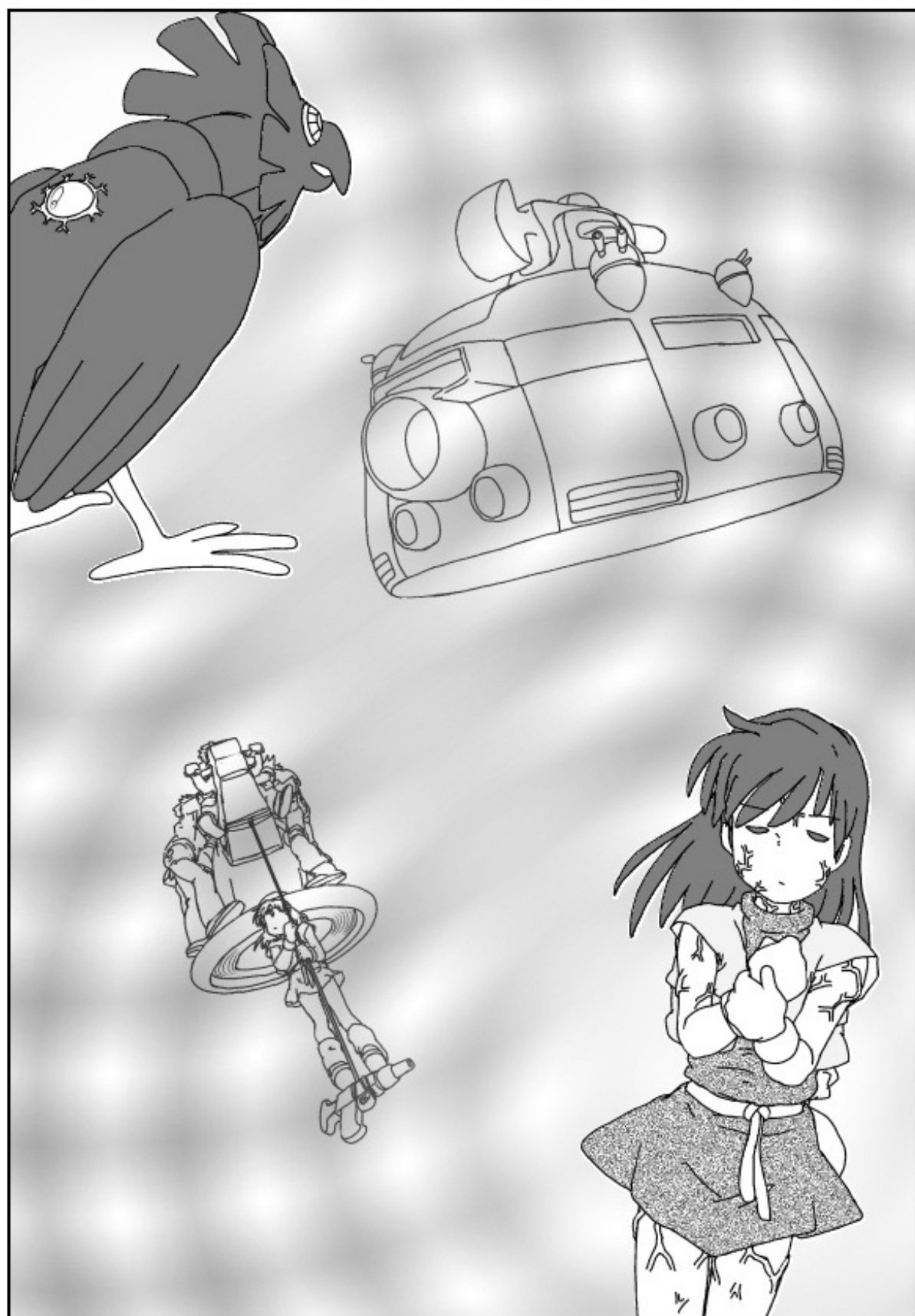
おっと・・・
発射の刻が
来た様ですね

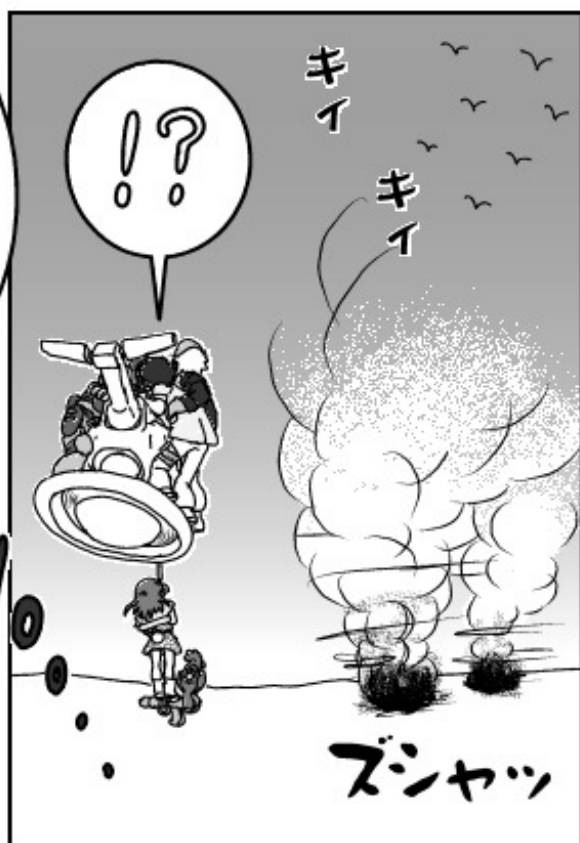
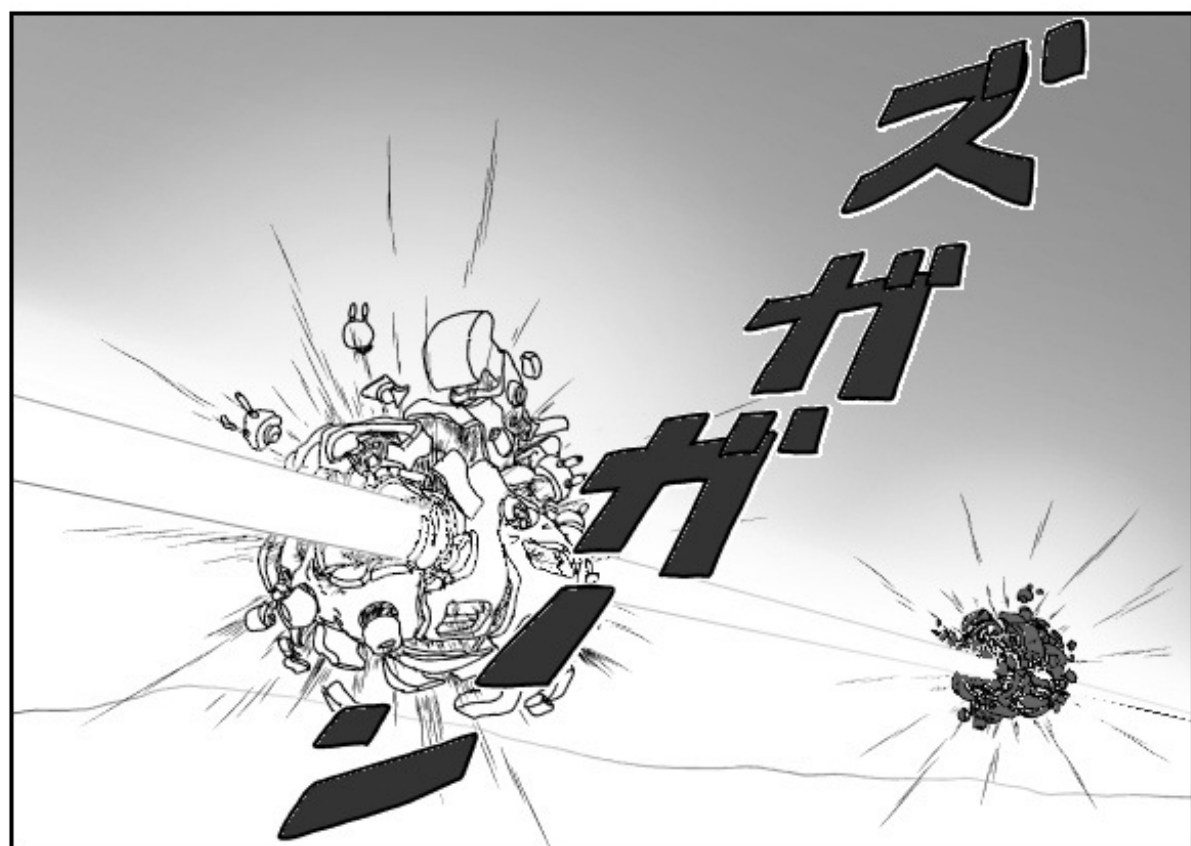
他にもっといい
方法はないの？



それでは
万事・・









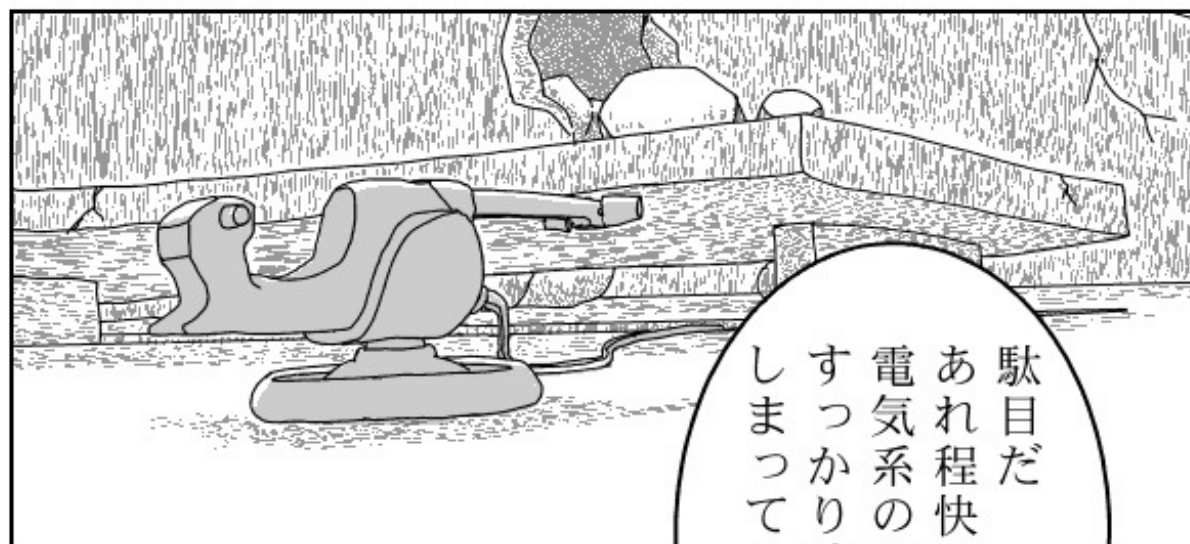
これはひどい

空港跡が
見る影も
無くなってる

タンクが
2台とも一瞬で
消し飛んだのも
わかる気がする

辺りの空気も
まだビリビリして
いるみたい

お陰でロツクが
寄り付かなくて
ありがたいんだ
けど・・・



駄目だ
あれ程快調だった
電気系の設備が
すっかり壊れて
しまってる



衣料、食糧も
兵士達の取り溢し分が
少しだけ残っていた
程度だったわ



今ホバーに充電中の
分でバッテリーの蓄えは
ゼロになってしまいうよ

負傷者を

治療薬も入手できず
あちこち連れ回して
しまったけれど

ゴソゴソ

ひどいことに
ならないでくれて
よかったよ

誰が
ひどい目に
あったって

少し元気に
なったようだな

ここは何処だ？
空港跡なのか？

ああ、そうだ
ボロボロだけどな

戦闘は終わったから
安心していいよ



おしまい

NAZCA ACT7

作者 SATOTOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2013年8月10日

本書の一部または全部を無断で
複製することは禁止します。

NAZCA ACT7

<http://p.booklog.jp/book/75345>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/75345>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/75345>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ